

新型コロナウイルスと闘いましょう！ 密閉、密集、密接を避けて、手洗い、うがいを忘れずに！

“ふるさとちば”のための政策推進を

茂呂つよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

県立学校 特色ある教育充実へ

9月議会文教常任委

寄付活性化向け条例審議



議場で委員長報告する茂呂県議

八千代市選出で教育の充実に力を入れる茂呂剛(もろつよし)県議は、9月定例県議会での同委員会審議を務めています。9月定例県議会での同委員会の審議で付託された一般会計補正予算案など5議案を可決すべきと決しました。茂呂県議が6月議会の一般質問で提案した県立学校が寄付を受け入れる仕組みについての質疑の模様を報告します。

各校の意向重視

自民党委員 本来、行政が予算を取ってしっかり対応すべき場合に、お金が集まりませんよという話でも、県が対応すべきことだから駄目というケースが生じた場合にせいかくの子ども達の望む環境が満たされない可能性を懸念している。

自民党委員 どうして寄付金を募集するというのが形になったのか。また、どのような方法で募集するのか。

財務課 学校からの要望

財務課 県教育委員会

は、各学校が主体的に実施を希望する取り組みを拡充するため、地域住民などの応援を受けることができるように考えている。各学校で計画を策定の上、寄付金を募集することとした。また、受け入れた寄付金を複数年度にわたり適正に管理するために基金を設置することにした。

また、募集をどのように行うかということだが、各

は、各学校が主体的に実施を希望する取り組みを拡充するため、地域住民などの応援を受けることができるように考えている。各学校で計画を策定の上、寄付金を募集することとした。また、受け入れた寄付金を複数年度にわたり適正に管理するために基金を設置することにした。

また、募集をどのように行うかということだが、各

は、各学校が主体的に実施を希望する取り組みを拡充するため、地域住民などの応援を受けることができるように考えている。各学校で計画を策定の上、寄付金を募集することとした。また、受け入れた寄付金を複数年度にわたり適正に管理するために基金を設置することにした。

また、募集をどのように行うかということだが、各

学校において募集目的と目標額を明記した計画を策定してもらい、学校や県教育委員会のホームページに掲載するとともに、民間のポータルサイトを活用するなど広く寄付金を募集することとしている。

なお、各学校が策定した計画について、県で標準的に整備すべき内容が含まれないかなどについて、県教育委員会が確認を行うこととしているが、制度の趣旨を踏まえ、可能な限り学校の意向を尊重したい。

自民党委員 県に対する寄付になり、所得税の税額控除や返礼品の対象になることではないか。

財務課 こちらの寄付をした場合は、ふるさと納税の対象になり、税の控除を受けられる。返礼品については、千葉県としては予定していない。

自民党委員 各学校で計画を立てて募集を行う場合、寄付の集まり具合に差が出てくると思う。目標額が集まらなかった場合、どのような対応を考えているのか。

財務課 仮に目標額に到達しなかった場合、学校の意向を確認したうえで、計画内容の縮小や変更で対応していきたい。県教育委員会としても、目標額の達成に向けて、県の広報誌等も活用し、広く募集していきたい。

自民党委員 埼玉県の制度では県立学校を広く支援するものと、各学校でプランを策定してこれを出していくという形だったと思う。学校によっては何項目もだしているところも1項目だけのところがある。こういう形態になるという理解でよいのか。

財務課 基本は各学校のプランに対する寄付。ただ、プランではなく、学校だけ指定して寄付する方が、学校は指定しないが、県立学校で使ったという方もいる。そういうところも含めて受け入れはする予定。

自民党委員 各学校が事業計画を作るために、県は要項を用意しているのか。

財務課 現在策定中で、出来上がったら各県立学校に示したい。

自民党委員 各学校が策定した計画に県の審査や規定はあるのか。

財務課 教育委員会が計画の審査をしたいと思う。県で計画的に整備するものがないか、安全性に問題がないかなどの基準を考えて、それに見合っているかどうかといったことを考えてい。

●県政と八千代市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

議事所
茂呂つよし 県事務所
〒276-0046 八千代市大和田新田1092-7
TEL047-480-0244 FAX047-458-7033

はどのようになるのか。

財務課 参考にした埼玉県の例を見ると、募集期間がある。学校がプランを作った時にどのくらいの期間募集するかということも合わせて計画して示してもいい。

自民党委員 設定金額を上回る額が集まった場合はどうなるのか。

財務課 目標を上回る寄付が集まった場合や事業を実施して残金が出てしまった場合は、基本的には学校と相談して活用方法を検討する。

自民党委員 あくまで学校の中ですることか。

財務課 現在のことではそういうことになる。

学びやすい環境つくる

生涯学習推進方針

来年5月策定目指す

自民党委員 生涯学習の推進方針について伺う。我が党の代表質問に教育長から「本県の新たな推進方針を策定し、新しい時代に合った生涯学習社会の実現に取り組んでいく」との答弁があった。取組の方向性としては、従来からの一般教養や社会貢献活動などに関する学びに加え、県民が新たな知識等を習得し、さらなる活躍ができるよう、社会人の学び直しの充実を図る。というものだった。推進方針の策定スケジュールを教えてください。

生涯学習課 本年6月に

千葉県における生涯学習推進の在り方について、県生涯学習審議会に諮問を行い、これまでに生涯学習推進の現状と課題、施策の方向性等について協議を行ってきた。今後は会議の議論を踏まえ、年内に審議会から答申を受ける予定であり、これをもとに県教育委員会としての方針案を取りまとめ、パブリックコメントを経て令和5年5月を目途に推進方針を策定したい。

自民党委員 推進計画策定の具体的な取組みについて決まっていることがあれば伺いたい。

生涯学習課 社会人の学び直しが地域社会の活躍や産業人材としての活躍につながるが、生涯学習審議会では学習情報の提供や、学習相談体制の強化について議論を続けている。内容としては市町村公民館で行われている、教養等の講座などの身近な学びから、公の訓練機関、民間教育機関、大学で行われている高度な学びなど幅広く対象とすることを検討している。また、社会人の学び直しについて高度専門的な学びにつながるようなり力を入れたい。

くためには多様な主体との協力が必要と考えている。中でも市町村については、地域の実情を最もよく知り、また、公民館等が教養講座等を提供している。地域社会での活躍に向けた学びにおいては、重要な役割を担っていると認識している。今後は市町村との具体的な連携態勢の方策について具体的な検討を進めていきたい。



ランナーとして参加した茂呂昌議

4年ぶりのアクアラインマラソン

東京湾上のアクアラインなど木更津市と袖ヶ浦市を舞台にした「ちばアクアラインマラソン」が11月6日、4年ぶりに開催され、約1万5千人のランナーが汗を流した。天候にも恵まれ、完走率は過去最高を記録した。

より多くの人を楽しめるように初心者枠の設定や親子ラン、生活用車いすランといったイベントも初めて実施。千葉県内のグルメが集まった屋台村の開設や、和太鼓による応援も行われ、沿道には約21万人が繰り出した。

熊谷俊人知事は県議会で「千葉の魅力を満喫していただけのものと考えており、引き続きスポーツを通じた地域の活性化に努めてまいります」と報告した。

県立中トイレ洋式化完了

自民党委員 和式トイレ洋式化の進捗状況はいかがか。

教育施設課 今年度は県立中学校と特別支援学校の洋式化を進めている。中学

校については、2校10基の洋式化が完了し100%となった。特別支援学校については22校129基の洋式化が完了し約87%となった。

自民党委員 中学校は100%になったとのことですが、先の良いスタート。県立学校のトイレ洋式化はいつ完了するのか。

教育施設課 県立学校トイレ改修事業と大規模改修事業を合わせて実施することにより、計画的に進めている。計画通りに進めば令和14年度までには洋式化が完了する見込み。

自民党委員 トイレというのは小さな問題に見えて、実はあまり時間をかけるべきことではない。予算が伴うことであるから、今日明日に全校いっぺんにやるといっわけにはいかないことはわかる。10年。このスパンが長いのか短いのか、最後になる学校はどれくら

地域の力活かした学校

自民党委員 地域連携協働校の内容はこのようなものか。地域協議会の具体的な委員の構成はどのようにするのか。

教育政策課 地域連携協働校は、例えば学校運営協議会制度を導入するなど地域の協力・支援を受けながら、地域と一体となり、地域ならではの資源を活用し地域の将来を担う人材や地域社会に積極的に参加する人材の育成を目指す。その指定については、各地域における、それぞれの高校の通学の利便性や地元からの通学状況を条件にし、地域協議会での議論も参考とし、今後策定する第2次以降の実施プログラムにおいて検討する。



文教常任委員会を委員長として仕切る茂呂昌議 (右から2人目)

者など和式トイレでは用が足せないというごちも考えられる。ぜひ、10年を1年でも2年でも前倒しできるように様々な方が来る。特に、高齢進めてほしい。

その意見については今後策定する第2次以降の実施プログラムの策定において参考にして検討する。